

# 検査項目の基準範囲変更のお知らせ

奈良県立医科大学附属病院  
中央臨床検査部

2015年6月20日より、一部の検査項目の基準範囲を変更させていただきます。今回の変更は、医療施設によって基準範囲が異なる問題に対応するため、日本臨床検査標準協議会が設定し、全国に広まりつつある「共用基準範囲」をできるだけ多く当院の基準範囲として採用し、基準範囲の標準化を図ることを目的としています。

変更の際し、みなさまに以下の点についてお知らせとお願いを申し上げます。

- 変更になった検査項目は測定法が変更になった訳ではありませんので、過去の検査結果と比較することができます。
- 今回の変更によって、現在受けておられる治療方針が変更になることはありません。
- 院内で測定している検査項目の多くは基準値として、健常人の値を基にした「基準範囲」を採用していますが、一部の項目では「臨床判断値（病気の予防や治療の目安となる値）」を採用しており、その区別を新たに検査結果に表記します。

（詳細は「基準範囲と臨床判断値について」のページをご覧ください。）

項目名	略称	(単位)		今までの基準範囲 (旧)	改定基準範囲 (新)
総蛋白	TP	g/dL		6.4 ~ 8.1	<b>6.6-8.1</b>
アルブミン	Alb	g/dL		4.0 ~ 5.1	<b>4.1-5.1</b>
グロブリン	Glb	g/dL		2.0 ~ 3.3	<b>2.2-3.4</b>
硫酸亜鉛混濁試験	ZTT	KU		3.0~13.0	<b>2.6-12.6</b>
アミラーゼ	AMY	U/L		40~120	<b>44-132</b>
膵型アミラーゼ	P-AMY	U/L		18~55	<b>18-50</b>
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ	AST	U/L		12~32	<b>13-30</b>
アラニンアミノトランスフェラーゼ	ALT	U/L		5~36	<b>男:10-42, 女:7-23</b>
アルカリフォスファターゼ	ALP	U/L	成人	120~360	<b>106-322</b>
乳酸脱水素酵素	LD	U/L		116~230	<b>124-222</b>
クレアチンキナーゼ	CK	U/L		22~160	<b>男:59-248, 女:41-153</b>
クレアチンキナーゼ-MBアイソザイム	CK-MB	U/L		6~16	<b>3-11</b>
γ-グルタミルトランスアミナーゼ	γ-GT	U/L	男性	11~69	<b>13-64</b>
			女性	7~30	<b>9-32</b>
コリンエステラーゼ	ChE	U/L		192~446	<b>男:240-486, 女:201-421</b>
中性脂肪	TG	mg/dL		30~150	<b>男:40-149*, 女:30-149*</b>
総コレステロール	TC	mg/dL		120~240	<b>142-248</b>
HDL-コレステロール	HDL-C	mg/dL		40~76	<b>男:40*-90, 女:40*-103</b>
遊離脂肪酸	NEFA	mEq/L		0.20~0.70	<b>0.20~0.70</b>
血糖	Glu	mg/dL		60~100	<b>73-109</b>
尿酸	UA	mg/dL	男性	3.6~7.9	<b>3.7-7.8</b>
			女性	2.6~5.4	<b>2.6-5.5</b>
尿素窒素	UN	mg/dL		8~20	<b>8-20</b>
クレアチニン	CRE	mg/dL	男性	0.53~1.01	<b>0.65-1.07</b>
			女性	0.39~0.73	<b>0.46-0.79</b>
ナトリウム	Na	mEq/L		137~146	<b>138-145</b>
カリウム	K	mEq/L		3.6~4.8	<b>3.6-4.8</b>
クロール	Cl	mEq/L		98~107	<b>101-108</b>
カルシウム	Ca	mg/dL		8.7~10.3	<b>8.8-10.1</b>
無機リン	IP	mg/dL		2.4~4.1	<b>2.7-4.6</b>
マグネシウム	Mg	mg/dL		1.7~2.7	<b>1.7-2.3</b>
血清鉄	Fe	μg/dL	男性	58~178	<b>51-190</b>
			女性	43~153	<b>33-179</b>
不飽和鉄結合能	UIBC				<b>男:162-302, 女:162-408</b>
総鉄結合能	TIBC	μg/dL		256~410	<b>男:258-389, 女:263-457</b>
血清銅	Cu	μg/dL		66~135	<b>男:68-115, 女:71-131</b>
総ビリルビン	T-Bil	mg/dL		0.3~1.1	<b>0.4-1.5</b>
直接ビリルビン	D-Bil	mg/dL		0.1~0.3	<b>0.1-0.2</b>
間接ビリルビン	I-Bil	mg/dL		0.2~0.9	<b>0.3-1.0</b>
遊離サイロキシン	FT4	ng/dL		0.90~1.80	<b>0.90-1.70</b>
遊離トリイオードサイロニン	FT3	pg/mL		2.2~4.1	<b>2.3-4.0</b>
甲状腺刺激ホルモン	TSH	μIU/mL		0.35~3.73	<b>0.50-5.00</b>
C反応性蛋白	CRP	mg/dL		<0.2	<b>&lt;0.2</b>
項目名	略称	(単位)		今までの基準範囲 (旧)	改定基準範囲 (新)
リウマチ因子	RF	IU/mL		<10	<b>&lt;15*</b>
免疫グロブリンA	IgA	mg/dL		100~400	<b>93-393</b>
免疫グロブリンG	IgG	mg/dL		860~1800	<b>861-1747</b>
免疫グロブリンM	IgM	mg/dL	男性	33~180	<b>33-183</b>
			女性	50~260	<b>50-269</b>
免疫グロブリンE	IgE	IU/mL		≦360.9	<b>≦360.9</b>
補体成分C3	C3	mg/dL		77~140	<b>73-138</b>
補体成分C4	C4	mg/dL		13~36	<b>11-31</b>
項目名	略称	(単位)		今までの基準範囲 (旧)	改定基準範囲 (新)
白血球数	WBC	10 <sup>3</sup> /μL		39~98	<b>33-86</b>
赤血球数	RBC	10 <sup>4</sup> /μL	男性	427~570	<b>435-555</b>
			女性	376~500	<b>386-492</b>
ヘモグロビン	Hb	g/dL	男性	13.5~17.6	<b>13.7-16.8</b>
			女性	11.3~15.2	<b>11.6-14.8</b>
ヘマトクリット	Ht	%	男性	39.8~51.8	<b>40.7-50.1</b>
			女性	33.4~44.9	<b>35.1-44.4</b>
平均赤血球容積	MCV	fL		82.7~101.6	<b>83.6-98.2</b>
平均赤血球色素量	MCH	pg		28.0~34.6	<b>27.5-33.2</b>
平均赤血球色素濃度	MCHC	g/dL		31.6~36.6	<b>31.7-35.3</b>
血小板数	PLT	10 <sup>4</sup> /μL		13.1~36.2	<b>15.8-34.8</b>
網赤血球数	RET	%		0.2~2.7	<b>0.8-2.2*</b>

\*リウマチ因子は「基準範囲」ではなく、カットオフ値として15 IU/mLを採用する。

\*中性脂肪の上限値は動脈硬化性疾患ガイドライン2012の「脂質管理目標値」を元に設定。

\*HDL-コレステロールの下限値は動脈硬化性疾患ガイドライン2012の「脂質管理目標値」を元に設定。

\*網赤血球数は「臨床検査法提要」(改定第33版)の基準範囲を採用する。

# 「基準範囲」と「臨床判断値」について

検査データを判断する際の目安となるものに  
「基準範囲」と「臨床判断値」があります。

## 基準範囲とは

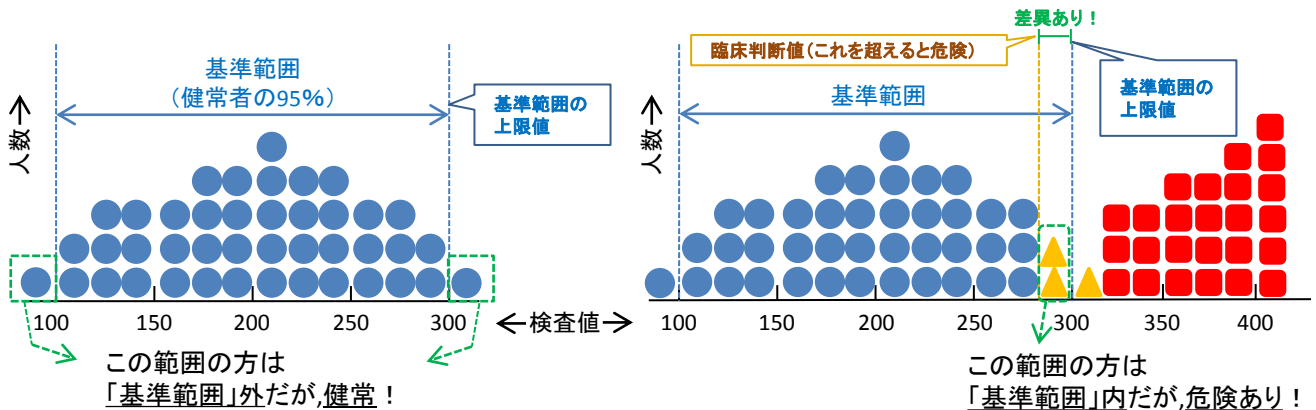
- 健康な成人の検査値を多数集め、その分布の中央95%を含む数値の範囲(項目により、5～95%の範囲)を示したものです。
- 検査機器や試薬の違い等により、施設によって若干の差異があります。
- 特定の病気や治療の目標などを考慮して算出されていません。

## 臨床判断値とは

- 特定の病気の診断基準や病気の有無の判別、さらには治療の目標に用いられる基準です。
- 「基準範囲」とは違い、多くの病気の方の検査値も考慮して設定される値です。
- 「基準範囲」と「臨床判断値」の両方が設定される場合、その値には差異があります。

【ある検査の「基準範囲」「臨床判断値」と被験者の度数分布】

● 健常者    ▲ 健常者だが病気になる危険がある方    ■ 病気を発症した方



- 当院では担当医から皆様に手渡される、印刷された「検査結果」の下限值・上限値は、そのほとんどが「基準範囲」を示しています。
- 院内で測定している項目で「臨床判断値」を基準にしている検査は「検査結果」の検査項目の末尾に# を付けています。  
(詳しくは次のページをご覧ください)

# 担当医の先生から皆様へお渡しする 印刷された検査結果（検査詳細情報）も 一部, 変更されます.

## 《検査詳細情報》

患者ID :	採取日時 :
患者氏名 :	オーダー番号 :
生年月日 :	<div style="border: 2px solid red; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>ここにコメントが 追加されます</p> </div>
年齢 :	
性別 :	

### 【基準範囲と臨床判断値について】

- 下表の「下限値」「上限値」は「**基準範囲**（健常人の大部分が入る値の範囲）」もしくは「**臨床判断値**（検査項目名の末尾に#が付く項目：特定の病気の有無や治療の目標になる値）」を示します。（検査項目名の頭に\*がつくものは院外の検査施設で測定している項目です。）
- 基準範囲と臨床判断値の詳細については、検査部のパンフレットをご覧ください。
- 検査結果の解釈や判定は自己判断せず、必ず担当医とご相談ください。

No	検査項目	結果	コメント1	コメント2	下限値	上限値	単位名称
51	GFR推算値	28.6 L			60.0	120.0	ml/分/1.73m <sup>2</sup>
52	溶血	0					
53	乳び	0					
54	黄疸	5					
55	HBs抗原定精量 #	0.00			<0.05		IU/mL
56	HCV抗体 #	0.9			<1.0		S/CO
57	梅毒脂質抗体 (RPR法)	(-)					
58	定量 #	0.0			<1.0		R.U.
59	*DUPAN-z	>=1600 H			0	150	U/ml

**単純に「基準範囲内にある」「基準範囲から外れている」「臨床判断値の上か下か」というだけでは、診断や治療の判断はできません。  
検査結果のみで自己判断せず、必ず担当医とご相談ください。**

☞ 基準範囲変更に関するご質問やご要望は、中央臨床検査部のスタッフまでお問い合わせください。担当者が対応させていただきます。